

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回配信日は1月17日(金)となります

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳の販売個数は前年割れ、はっ酵乳はドリンクタイプが今年度最高を再び更新」

・12/23週の牛乳類の販売個数は、4カテゴリーすべて前年水準を下回った。カテゴリー別に見ると、牛乳は2週連続、成分調整牛乳は10週連続、加工乳は6週連続、乳飲料は25週連続で前年割れとなり、いずれも対前年比95%を下回り、とりわけ京浜地区が弱かった。年末年始が最大9連休となったため、旅行者が例年より増えたことで、昨年と比較し日配品の購入が控えられたと推察される。

・昨年より全国ベースでの生乳供給量は増加している一方、牛乳類トータルの需要は低迷しており、乳製品への生乳仕向け量が増加している。気温の低下とともに飲用消費が落ち込む季節となり、冬休みで学校給食用牛乳の供給が休止となる中、年末年始は、飲用牛乳工場での貯乳と全国の乳製品工場がフル稼働することで対応した。全国の関係者の配乳調整への協力もあり、現時点で大きな混乱が生じたとの情報は入っていない。

・はっ酵乳は、8週連続で、3カテゴリーすべて前年水準を上回った。特に、ドリンクタイプは販売単価が上昇傾向にあっても消費が増え、販売個数は今年度最高を2週連続で更新した。大容量タイプは、17週連続で販売個数が前年水準を上回っている。インフルエンザが各地で猛威を振るう中、免疫機能への注目が高まることでヨーグルトの消費を後押ししていると推察される。

・家庭用バター販売個数は、2週ぶりに前年水準を上回った。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>

「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

10月2日に「改訂版・戦略ビジョン」を策定・公表しました

資料ダウンロードは下記URLより

<https://www.j-milk.jp/news/strategicvision202410.html>

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(12/23週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:94.1%、成分調整牛乳:92.1%、加工乳:92.3%、乳飲料:90.3%。

牛乳類トータルでは同93.4%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は92.2%。

・販売単価は、牛乳:226.1円、成分調整牛乳206.2円、加工乳:221.2円、乳飲料:174.0円。

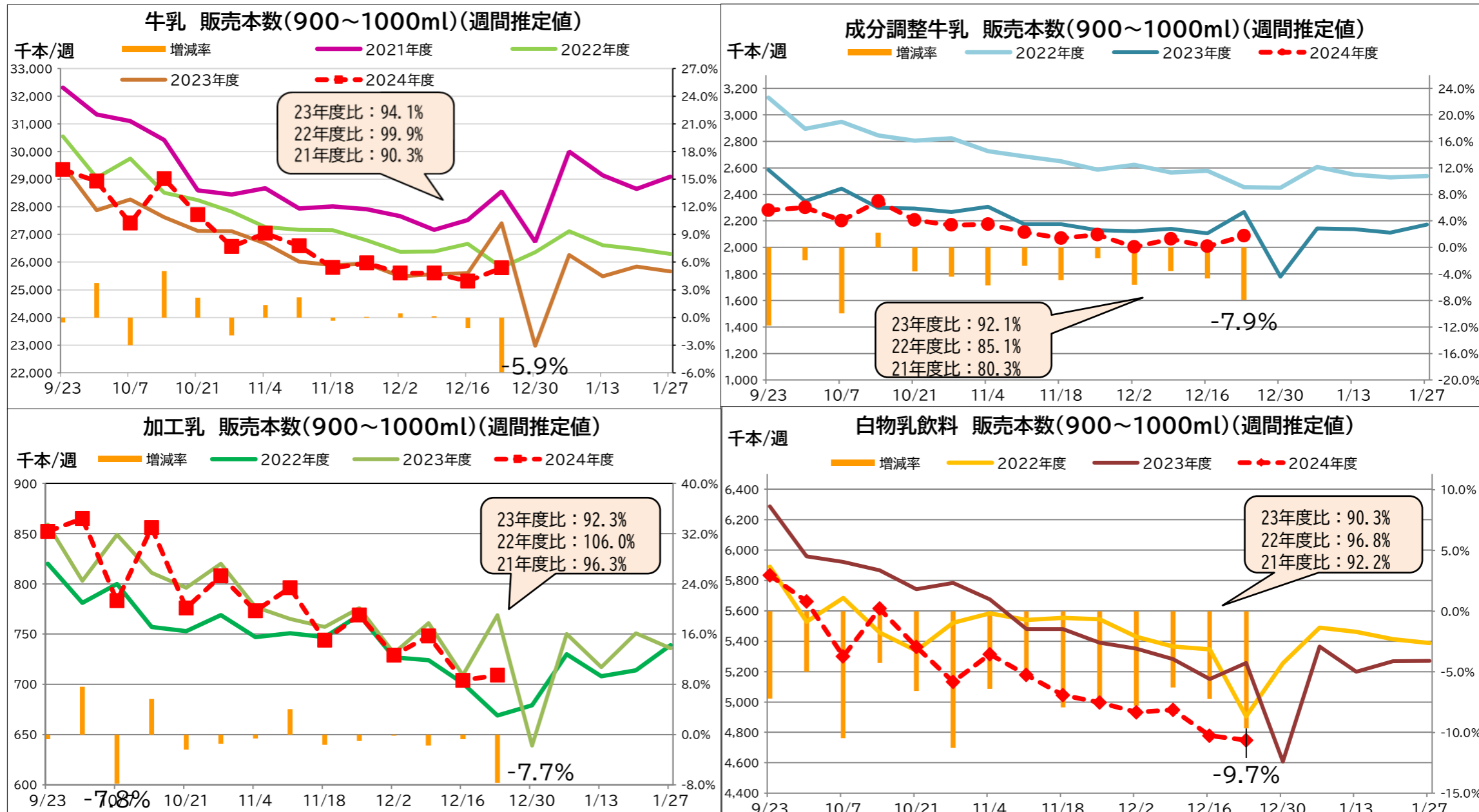
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	11.4-	11.11-	11.18-	11.25-	12.2-	12.9-	12.16-	12.23-	24.12.23- 22.10.24 価格差	24.12.23- 23.3.20 価格差	24.12.23- 23.7.24 価格差
		販売個数	35,299	34,674	33,653	33,825	33,269	33,366	32,798	33,332		
トータル	販売個数前年比	99.6	100.7	98.1	98.8	98.7	98.9	97.7	93.4	34.1	19.2	16.8
	販売単価	215.8	215.6	215.9	215.6	216.0	215.9	216.1	217.3			
牛乳	販売個数	27,040	26,585	25,796	25,966	25,605	25,606	25,309	25,785			
	販売個数前年比	101.4	102.2	99.6	100.1	100.4	100.1	98.9	94.1	35.8	19.5	18.3
成分調整牛乳	販売個数	2,174	2,114	2,068	2,095	2,002	2,064	2,007	2,088			
	販売個数前年比	94.3	97.2	95.0	98.4	94.4	96.4	95.3	92.1	32.5	17.6	13.0
加工乳	販売個数	773	796	744	769	729	748	704	709			
	販売個数前年比	99.4	104.1	98.4	99.0	99.8	98.3	99.3	92.3	30.3	20.0	9.4
乳飲料	販売個数	5,313	5,179	5,044	4,996	4,933	4,949	4,778	4,749			
	販売個数前年比	93.6	94.5	92.1	92.7	92.2	93.7	92.8	90.3	24.3	14.5	9.8
	販売単価	172.7	172.5	172.7	172.6	173.4	173.0	173.1	174.0			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(12/23週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比110%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上(3品目合計前年同期比105%)以上。

(2)前週(12/16週)との比較では、ドリンクタイプと個食タイプが増加した一方、大容量タイプが減少した。

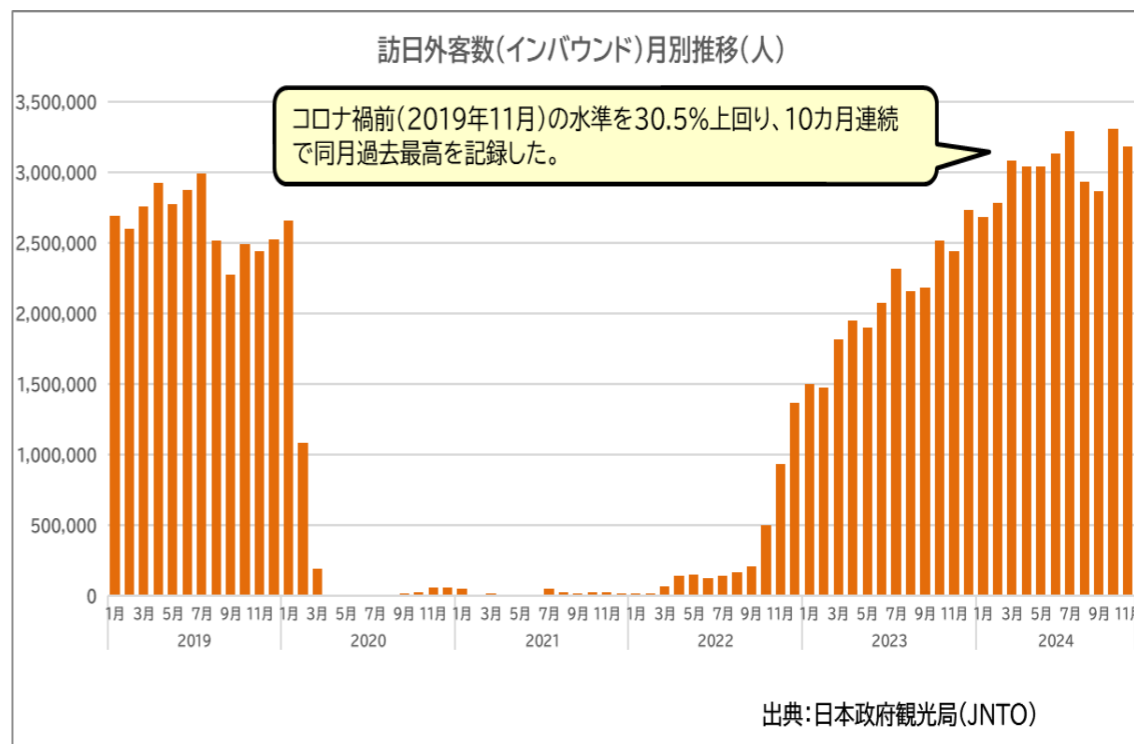
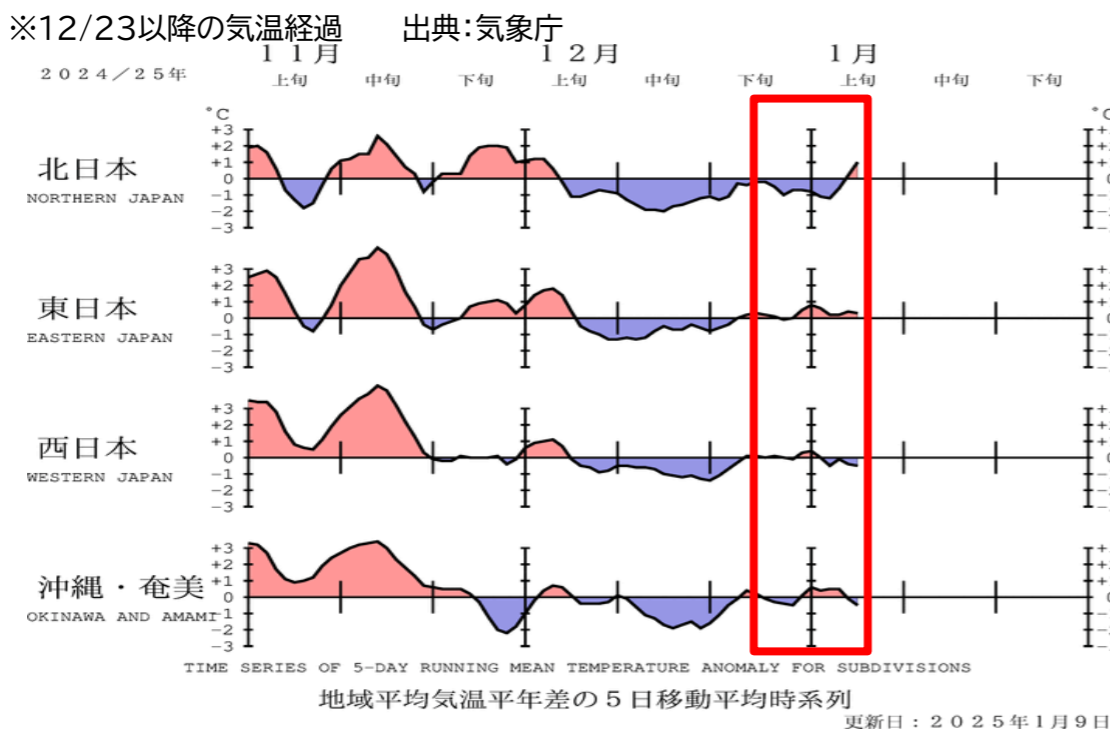
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	11.4-	11.11-	11.18-	11.25-	12.2-	12.9-	12.16-	12.23-
ドリンクタイプ	→	↗	→	→	→	→	↑	↑
個食タイプ	→	↗	→	→	→	→	↗	→
大容量タイプ	↗	↑	↑	↑	↗	↗	↗	↗

- ↓ : 前年比90%未満
- ↗ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
- ↑ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- ↑ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」